

## 平成 30 年度名寄市町内会ネットワーク研修会開催要綱

1. 目的 私たちが暮らす地域には子どもから高齢者、障がいのある方など様々な住民が暮らしており、その全ての住民が当たり前のように暮らすことのできる地域の実現には、そこに暮らす住民同士の支え合いが不可欠であり、その大きな要素の一つとして町内会での活動が期待されています。

そこで本研修は、町内会における住民活動のこれからを考え、住民同士が支え合い、安心して暮らすことのできる地域・まちづくりにつなげることを目的として開催します。

2. 主催 社会福祉法人 名寄市社会福祉協議会

3. 共催 名寄市町内会連合会／名寄市民生委員児童委員連絡協議会  
名寄市立大学コミュニティケア教育研究センター

4. 後援 名寄市／名寄市老人クラブ連合会

5. 日時 平成31年1月16日（水）13：30～15：30（受付 13：00～）

6. 場所 名寄市立大学 図書館1階 大講義室（名寄市西4条北8丁目）

7. 内容 第一部 13：30～14：00

実践報告「地域福祉活動が生む魅力と課題」

地域で福祉活動を実践されている方から、地域での活動が生む魅力や、今後活動を展開していくうえでの課題等を報告していただきます。

報告者 太田 國尾 氏（南地区民生委員児童委員協議会）

蓮宗 孝 氏（名寄市町内会連合会副会長／北新区町内会会長）

- 第二部 14：15～15：30

シンポジウム「多様な連携が生み出す地域の魅力～大学との連携から～」

シンポジスト 山本 克彦 氏

（日本福祉大学 福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科 准教授）

東日本大震災当時は岩手県立大学の教員として、被災地の復興のために岩手県立大をはじめ全国の大学生と共に、復興への活動を展開され、現在も大学生との連携をとおした様々な地域実践をされている山本氏の実践から、大学との連携が生み出す地域の力について考えていきます。

篠原 辰二 氏

(一般社団法人 Wellbe Design 理事長)

名寄社協をはじめ、全国各地の社協・行政などの福祉活動のアドバイザー活動を行なうなど、様々な地域福祉事業の推進に携わっている篠原氏の取り組みから、あらゆる視点で今後の名寄市における地域福祉の取り組みを考えていきます。

結城 佳子 氏

(名寄市立大学 コミュニティケア教育研究センター センター長)

名寄市を中心とした道北地域との連携協働により、保健医療福祉、保育、教育、産業振興ならびに地域活性化等に関する課題発見および解決に取り組んでいるコミュニティケア教育研究センターの取り組みから、名寄市における地域と大学の連携について考えていきます。

コーディネーター 長谷川 武史 氏

(名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科 准教授)

名寄大学で地域福祉論を担当され、第4期名寄市地域福祉実践計画「つながり」の策定委員としても携わり、名寄における地域福祉実践に精通している長谷川氏に進行をしていただきます。

8. 参加対象      どなたでも参加いただけます。
9. 申し込み      平成31年1月8日(火)迄に別紙申込用紙で事務局までお申込み下さい。
10. その他      本件研修会は名寄市町内会連合会女性交流会との合同で開催します。

◇問い合わせ・申し込み先

名寄市社会福祉協議会 (担当：地域支援係)

(名寄市西1条南12丁目 名寄市総合福祉センター内)

TEL:01654-3-9862/FAX:01654-3-9949

E-mail:chiiki@nayoro-shakyo.jp